

専願「志」選抜

学力検査

数学

【出題方針】

本学専願「志」選抜の学力検査（数学）では、高等学校数学の基礎事項が確実に定着しているかを確認します。あわせて、基本的な知識や技能を用いて基礎的および標準的な問題を正確に処理できる力を評価します。各分野の標準的内容を通して、計算の正確さ、条件整理の的確さを総合的に重視します。これらを通して、本学での学修に必要な数学的基礎力、数量的処理能力を有しているかを判定します。

【高校の学習で大切にしたいこと】

- 教科書を繰り返し読み、定義と基本的な考え方を理解してください。定理を自分で説明したり、教科書の例題や問題を確実に解いたりできるようにすることが大切です。グラフや図を描きながら学ぶことを勧めます。
- 基礎的な問題は、教科書の例題や章末問題に丁寧に取り組めば十分に解けます。例題で解法の型を身につけ、標準的な難しさの章末問題まで解き切ってください。
- 問題文をよく読み、内容を正確に理解することが前提です。数学では拾い読みが通用しません。条件と求めるものを整理し、問われていることを確認する習慣を身につけてください。
- 計算力を高めるとともに、教科書の各項目のつながりを意識して学んでください。
- 日頃の学習で問題に取り組む際は、読み間違いが生じないように読みやすい字で丁寧に書くようにしてください。数字・記号・途中式を正確に書くことを、普段から習慣化してください。

【2026年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間】

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
式の計算、1次不等式、2次方程式、2次関数、三角比、集合、場合の数、確率	多肢選択問題	25	30分

【出題の意図】

（※ [1] はアンケートのため省略）

- [2] 平方根を含む式の計算（分母の有理化）に関する基本的理解を確認しています。
- [3] 絶対値の処理を伴う1次不等式と解の範囲に関する基本的理解を確認しています。
- [4] 2次方程式の解に関する基本的理解を確認しています。
- [5] 2次関数のグラフの頂点の座標に関する基本的理解を確認しています。
- [6] 三角比（余弦と正接の関係）に関する基本的理解を確認しています。
- [7] 正弦定理および直角三角形に関する標準的な理解を確認しています。

- [8] 2 次関数のグラフ上の 2 点に関する基本的理解を確認しています。
- [9] 集合の共通部分・和集合の個数に関する基本的理解を確認しています。
- [10] 場合の数に関する基本的理解を確認しています。
- [11] 確率に関する基本的理解を確認しています。